



学校評価だより

～中間自己評価～

令和4年10月 発行
珠洲市立宝立小中学校

令和4年度中間期の学校評価として、児童生徒・保護者・教職員アンケートをもとに自己評価を行いました。1学期にとりましたアンケート結果や自己評価の結果（裏面）を含めて、今後の取組についてお知らせいたします。

今後の取組を進めるにあたり、ご家庭にご協力いただくこともございますので、ご了承くださいようお願い申し上げます。

本校の教育目標

ふるさと宝立の自然や人に学び、たくましく生き抜く子の育成

目指す生徒像

◇確かな学力を身に付けた子（知育）

◇思いやりがあり心豊かな子（徳育）

◇健康・安全を育み守る子（体育・食育）

重点目標





（1）よく考え、確かな学力を身につけた子の育成

（2）思いやりがあり心豊かな子の育成

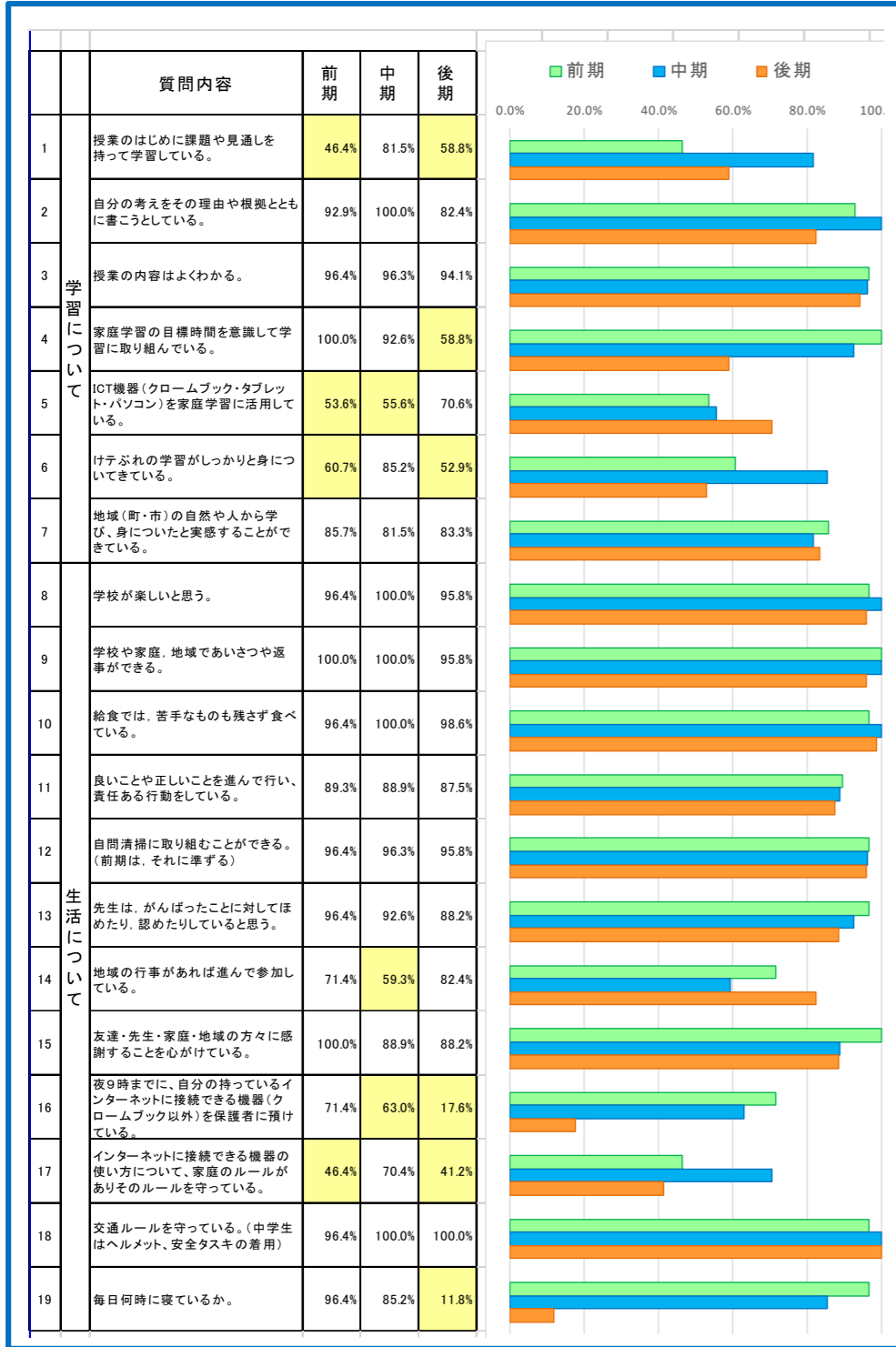
（3）健康・安全を育み守る子の育成

（4）魅力ある学校づくりの推進

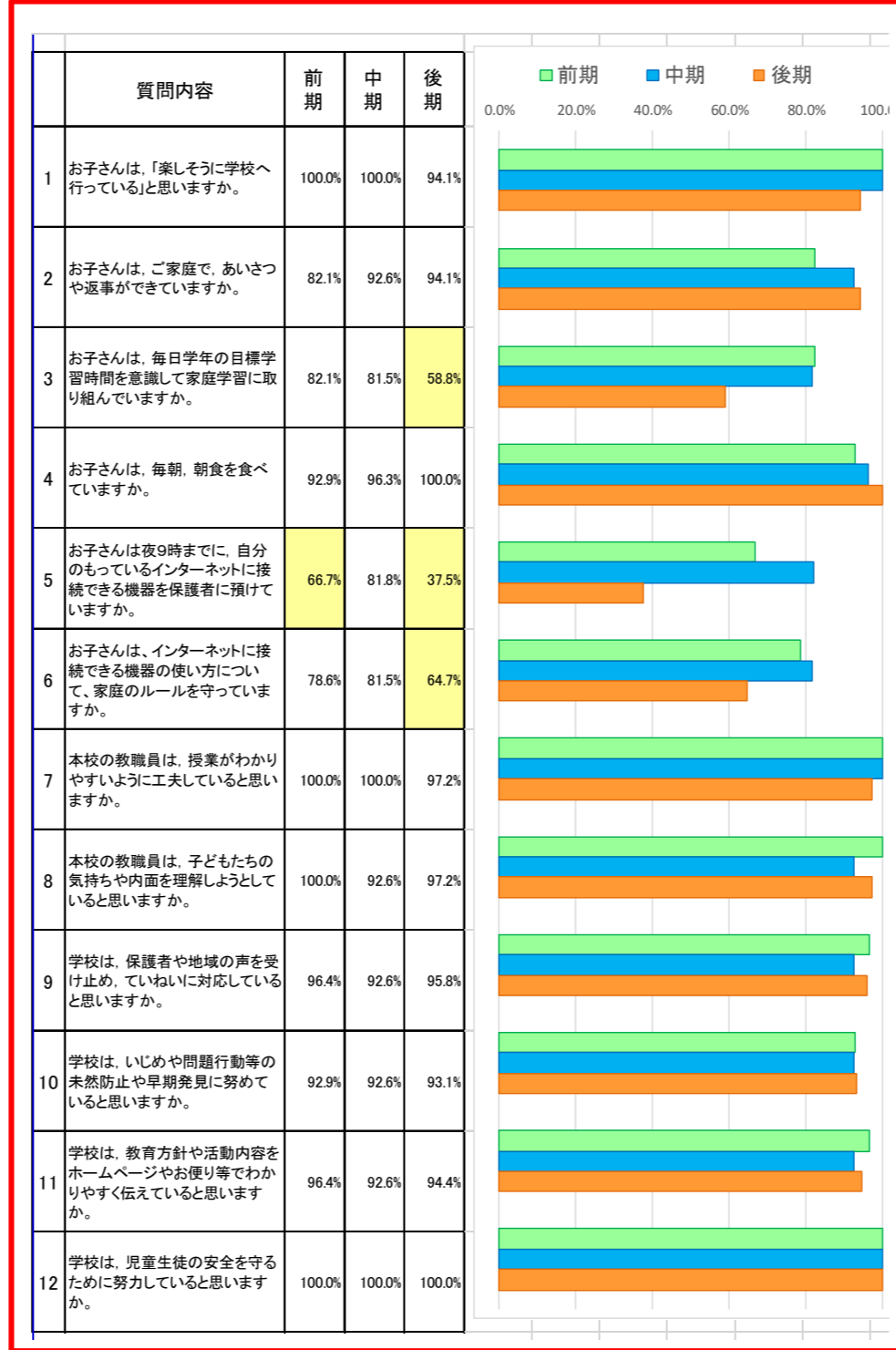
本年度重点事項

(1) 学んだ知識を活用し、自ら考え、行動できる 見方・考え方を持った児童・生徒の育成	(2) 自己管理能力、 自らコントロールする力の育成	(3) 体力向上の取組の充実	(4) 学びを実感できる児童・生徒会活動の創造
<p>《結果・分析》</p> <p>○授業の中で、児童・生徒と共に課題をつくるように意識して取り組んでいます。【教Ⅰ-1】</p> <p>○授業の中で、振り返りをして次の指導に生かしていることから、児童・生徒は授業内容を理解しています。【児生3, 教Ⅰ-4】</p> <p>○保護者から「授業のわかりやすさ」については理解を得ています。【保7】</p> <p>▲児童・生徒は理由や根拠を書こうとしています が十分な説明文を書くことができません。 【児生2, 教Ⅰ-4】</p>  <p>《改善策》</p> <p>◇児童・生徒とつくる課題 づくりを意識していくことで主体的に学ぶ姿勢 を引き出したり課題への意識をもたせたりする ようにしていく必要があります。そのためにも 全職員で導入の工夫を図っていきます。</p> <p>◇家庭学習では、今年度から導入した「けてぶれ学 習」について確認し、自主的に学習する児童・生 徒を目指して取り組んでいきます。</p>	<p>《結果・分析》</p> <p>○挨拶、自問清掃に関する回答は、児童・生徒、保護者、教職員共に肯定的で評価が高く、意欲的に取り組んでいます。 【児生9・12, 保2, 教Ⅱ-1・2】</p> <p>○計画的、効果的に道徳の授業に取り組み、善悪の判断や自律心を育んでいます。【教Ⅱ-4】</p> <p>○交通ルールはしっかりと守られています。 【児生18】</p> <p>▲インターネット機器に関する項目について、児童生徒、保護者ともに学年が上がるにつれて、「預けている」「守っている」の割合が低くなっています。【児生16・17, 保5・6】</p>  <p>《改善策》</p> <p>◇本校が取り組んでいる 「あいどる」+下足の視 点から「止まって挨拶する」ことを徹底し、高学 年の児童・生徒が下級生の手本となるよう取り 組みます。</p> <p>◇インターネット機器の使い方について、ルール がない家庭が多いため、使用時間等のルールを 決めるよう各家庭に呼びかけ、家庭と連携して 取り組みます。</p>	<p>《結果・分析》</p> <p>○給食指導等で、適切な食習慣に関する指導をしていることから、児童・生徒は苦手なものも残さずに給食を食べています。【児生10, 教Ⅲ-1】</p> <p>○保護者のアンケートから、毎朝朝食を食べている児童・生徒がほとんどです。【保4】</p> <p>▲就寝時刻について、学年が上がるにつれて遅く、睡眠時間が少なくなっています。 【児生19, 教Ⅲ-2】</p>  <p>《改善策》</p> <p>◇就寝時刻が遅いことと インターネット機器の使用とは密接な関係にあることから、保護者と連携し、規則正しい生活ができるよう指導していきます。また、定期的にアンケート調査を実施し、実態把握すると共に改善に努めます。</p> <p>◇外部講師を招聘し、睡眠の大切さやネット利用による光と影等について学習会を開催し、規則正しい生活の大切さへの理解を深め、改善につなげます。</p>	<p>《結果・分析》</p> <p>○児童・生徒は、日頃から委員会や学級会においてより良い学校を目指すために話し合い、積極的に参加しています。また、実践するために各集会を計画的に開催し、児童・生徒主導で自治活動に取り組んでいます。【教Ⅳ-1・2・3】</p> <p>○様々な活動や行事等に取り組んでいることから「学校が楽しいと思う」児童・生徒が多数を占めています。保護者のアンケートも、「楽しそうに学校へ行っている」と感じている保護者が多数でした。【児生8, 保1】</p>  <p>《改善策》</p> <p>◇自治活動には、企画段階での支援や振り返り活動を大切にして、より一層自主的・主体的に取り組めるようにしていきます。</p> <p>◇(4)以外のアンケート項目（就寝時刻やインターネット機器の使用等）については、肯定的な回答が少なかったため、外部講師による講演や児童・生徒による学習会を開催するなどして理解を深め、改善していきます。</p>

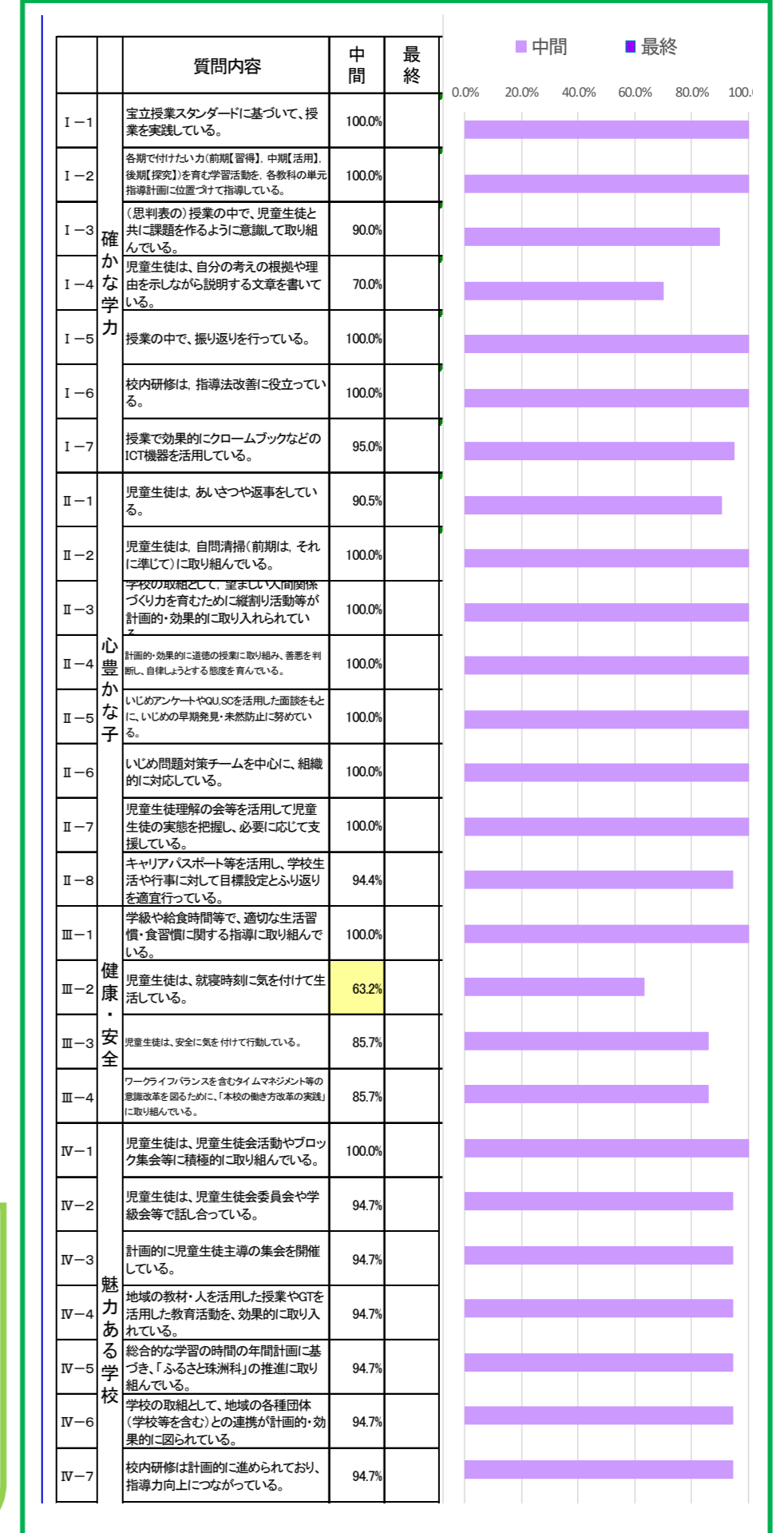
児童・生徒アンケート結果



保護者アンケート結果



教職員アンケート結果



肯定的に回答(4または3)した合計の割合を、判定基準の一つとして下記のように評価しています。また、C評価の項目(黄色部分)については速やかに改善策を考え対応します。

- ☆児童・生徒アンケート
 - A(前期・中期:85以上・後期:80%以上)
 - B(前期・中期・後期:70%以上)
 - C(前期・中期・後期:70%未満)

☆保護者アンケート A(85%以上) B(70%以上) C(70%未満)

☆教職員アンケート A(85%以上) B(70%以上) C(70%未満)

【学校関係者評価委員からいただいた感想・意見】

- 学力低下の一因でもあると思われるインターネットの使用についての対策を、保護者が今一度考える必要があると思います。
- インターネットの使用で寝る時刻が遅くなっていると思います。
- 学校へ楽しく行っているのは良いことです。続くといいです。
- 早寝・早起きは親の声掛けが必要だと思います。
- いじめの問題について、100%の教員が対応していると答えている中で、5人の保護者があまりそう思っていないと答えているのが気になります。